

教材名 「ゆうきの心配」

内容項目 B-（6）親切，思いやり

授業者 T1：長橋政之 T2：小池裕也

T：今日は思いやりについて、「ゆうきの心配」の教材を使ってみんなで考えていきます。

登場人物は一郎，まこと，ゆうきでした。

一郎はまことを怪我させてしまった。まことはどんな人物だったかというところ、普段は口数が少なくひかえめで、サッカーチームの中心でした。

まことは誰にも言わずに花壇のうしろにある水道で足を冷やしていた。

それに気付いたゆうきは、まことを追いかけていった。なんで追いかけたんだろうね。

心配だったんだろうね。大丈夫ですかという心配と。疑問に思っていたそばの水道を使わなかったのかを聞いたんだよね。

それに対してまことは、大丈夫、冷やしていたんだけど、今はいたくないって事と、「ぶつかった一郎が気にするといけなからさ」という返事だったんだよね。

それを聞いたゆうきは、それ以上何も聞けなくなって、「あすの試合頑張ってください」といつてかけだしました。

まことはうしろから「ゆうき」と声をかけて、Vサインしていた。それをみた、ゆうきも力いっぱいVサインをかえした。なぜかわからないけど心がとってもあたたかくなりましたって話でした。

みんなで選んだ課題は

「なぜ、まことは一郎に心配をかけたくなかったのか」です。この課題で話を始めたいと思います。では、なぜ、この課題を考えたのか、咲綾さんと夏音さんに話をしてもらってからスタートします。

C：まことがぶつかった一郎が気にするといけなからさといったのか気になったからです。

C：まことが一郎に心配をかけたくないというのが不思議だったからこの問いを考えました。

C：明日の試合一郎がずっとそのことを考えていたら試合に負担がかかるからだと思います。

C：一郎が気にして、「また当たったらどうしよう」と思って試合で本気を出せなくなったら負けちゃうから。

C：サッカーの中心になっている人だから、仲間に心配をかけて、試合を思う存分できなくなるから心配をかけたくなかった。

C：まことはチームの中心の一人でみんなを自分のことだけで心配をさせたくないと思ったから。

C：一郎に心配かけてどうしようとか、大丈夫かなとか色々心配して不安になったりするから心配かけたくなかったんだなと思いました。

C：試合の時とかに気にされてしまうと自分の力がしっかり出せなくなってしまうから。

C：心配をかけると一郎が自分が悪いと思いつんでチームを抜けてしまうと思ったから。

C：一郎が全部悪いわけではないし、楽しくサッカーができなくなると嫌だから心配をかけたくない。

- C : 怪我って言ったら一郎が謝ったりしてくるから、心配をかけたくないから言わなかったし、めんどくさくなるから言わなかった。
- C : 一郎がまことの足を心配して、試合に本気が出せなくなってしまったら試合にならなくなるから。
- C : 校舎のそばの水道を使ったら、一郎さんが気にして、練習に集中できないから。
- C : 一郎に心配をかけたら大ごとになるかもしれないから。
- C : まことは中心だし、一郎はまことのけがに集中して、サッカーに集中できなかったら、嫌だから、平気と見せて、心配をかけなかったと思いました。
- C : 一郎に心配をかけると「まこと大丈夫？」ばかり言われるから花壇の後ろにある水道であらった。
- C : 一郎が自分のせいでまことが出られなくなったらどうしようと思い込んでしまったから。
- C : 一郎がまことにけがさせてしまったとし合いに集中できなくて負けてしまうかもしれない。
- T : 先生がまとめてくれたけど、し合いに力をだせない。勝つため。仲間に心配させたくない。一郎に心配させたくない。お事にしたくない。とかありました。  
まことの一郎に対する心配かけたくない気持ちとか一郎が気にしないようにとか、っていう思いが感じ取れるよね。これってまことの思いやりかな？
- C : うん。
- T : じゃあさ、他には思いやりってないかな。ゆうきがまことにしたこととかある？
- C : けがをかくしているのを心配してくれた。
- C : 明日の試合頑張ってくださいっていったこと
- T : ゆうきはまことの事をどう思ってる。
- C : 尊敬している。
- T : そんな憧れの先輩に、心配して付いていったんだけど、この気持ちはまことに伝わった？
- C : 伝わった。
- T : なんでわかる？
- C : Vサイン
- T : 先生がこの場でやるVサインとまことがやるVサインは何が違う？
- C : がんばる。
- C : ゆうきに心配しなくていいよ。
- T : 大丈夫だよってことかな。
- C : ありがとう。
- T : 何にありがとう？
- C : 明日の試合頑張ってくださいとか。
- C : ゆうきも明日の試合ガンバレよ
- T : みんなが考えてくれたような意味がVサインにはいっていたら、先生がこの場でやるVサインとは意味が違うよね。ゆうきはその後どうなったかというと。
- C : 心がとってもあたたかくなった。
- T : 先生たちでこの教材を読んだ時に、思いやりって相手に伝わった方がいいのか、それとも伝わらなくていいのかなあって考えたんだよね。まことの一郎に対する思いやりは一郎には伝わってないよね。でもゆうきの思いやりはまことに伝わっていて、まことはVサインを返してくれ

て、ゆうきはそれで心がとってもあたたかくなって。

みんなは自分の思いやりが相手に伝わった方がよいと考えるか、それとも伝わらなくてもよいと考える。ネームカードを置いてちょっと話し合っていこう。

(ネームカードを置きに行く。)

T : 伝わらないほうがいいの人に聞いて、そのあと、伝わった方がいいの人に聞いて、最後に一番多い真ん中を聞いていきましょう。

ともき : 伝わると、心配をかけたくないのに、心配をかけてしまうから。そもそも、心配をかけたくないのに、心配をかけてしまうから。

(数人ネームカードを移動)

T : とても伝わったほうが、いいと思います。伝わってありがとうって言われたらうれしくない？それを聞いたら、またやってあげようってなるから、伝わったほうがいいと思う。

C : 先生に質問です。伝わらないほうがいいときもあるんじゃないですか。

T : この立場だったら、自分が一郎だとしたら、まことけがしたのかなあ。なんで言ってくれないのって思ってしまうかもしれない。逆にその場で、「俺、怪我をしたんだけど」って言ってもらって、「あっ。ごめん！」って言って仲直りっていうのもありじゃないのかなって思いました。

C : 友達の意見を聞いて、私も伝わらなくてもいいとおもいました。まことは心配をかけたくないのに、心配をかけてしまうから。

C : 私も同じで。心配をかけると、気をつかっちゃう。

C : 伝えたら、逆に心配になっちゃって、し合いがまことのこと気になってしまう。

C : 伝えない方がいいとおもう。次の日の試合で、頭がまことの事で試合に集中できなくなってしまう。

C : 私もつたわらなくてもいいとおもいます。分からないような、やさしさでこそ思いやりという時もあるし。伝えてもいいかもしれないけど、伝わらない方が、ゆうきの心配ではつたわらなくてもいいとおもう。

C : まことは一郎に心配をかけたくない。もしも見えたところでやっていたら、許してもらえないと思って、まことは気をつかったから、Sさんが言ったとおり、優しさだと思う。

C : 見えないところで使っていたら、一郎は大丈夫だったかなあっと心配で、見えるところで使っていたら、そんなに痛かったんだって心配しちゃうから、どっちも心配しちゃう。

T : 普段のことを考えたみたんだけどね。Kさんはさ、前に廊下にこぼれていた給食の汁をさ、誰に言われるでもなく拭いてくれてたことがあったよね。あれは何で拭いてくれたの？

C : あまり、拭こうとする人がいなかったし、そのままにしていたら、水と同じで滑って怪我をしてしまう。拭かなかったらけんかになってしまうかもしれないから。

T : これってどっちだと思う。まことと一郎の関係に似ているよね。

普段の生活である？

- C : 使ったティッシュをそのまま、置いてあって、喧嘩になった。
- T : Aさんもよく、教室に、こぼれている給食とかあると自分のティッシュ取り出してすぐ拭いてくれるけど、あれって、別に先生に言われて拭いてる訳じゃないよね。なんですか？
- C : とらないと、誰もとらないから。
- C : 私もAさんと一緒に、給食台とかに落ちたものをひろったりする。
- T : 質問なんだけど、それって、ありがとうとかって言ってもらえないでしょ。せっかくやったのに、気付かれなかったら、なんだよーって思わない？
- C : わたしは思わない。自分がやったんだから、自分がそれで満足すればいい。
- C : 私も言われなくてもいいです。誰がこぼしたのか、分からないし、それにありがとうって言ってもらってもあまり満足しない。自分で廊下とかを拭いて、廊下とかがきれいになれば、満足する。
- T : 思いが伝わらなくて悲しいと思わない？
- C : 自分からやったんだから気付かれなくてもいいと思う。
- C : 逆に気付かれると、一郎が、練習にもいけなくなっちゃう。
- C : S君と一緒に、気付かれたら練習とかにいけなくなっちゃうから。
- C : 気付かれたら、一郎が気にしちゃうから、
- T : 真ん中はどういう思う。どっちでもいい？
- C : まことと一郎は伝わらない方がいいけど、ゆうきとまことは伝わった方がいい。
- T : なんで伝わったほうがいいのか。
- C : どっちもけがさせたわけじゃないし、質問とかにきただけだから、それに答えて、伝わったほうがいい。
- T : 結婚式に大好きなおじさんと呼ぼうとしたんだけど、実はおじさんはガンでさ。結婚だから言わないでくれって内緒にしているそれで会えなかったんだよね。先生からしたら、言ってくれなかったから、最後会えなかったのね。さっき、ふうしさんが言ったみたいに、その状況にあわせることも必要かなと思って真ん中にかえました。
- もう一つあって、授業の準備を30分くらいかけてやって、もう1回教室にもどったらきれいに片付けてあったのね。言ってくればよかったと思う。
- 宿題やってこない人いない？そんなときにさ、宿題やったらうれしくない？うれしいよね。それも思いやりなのかな？
- C : それは思いやりじゃないと思う。宿題を書いてあげたりするのは、その人のためにならないから、それは思いやりじゃないと思う。
- C : 同じで、思いやりじゃないと思う。うれしいかもしれないけど、大人になって、勉強ができなかったら、困るから。
- C : 思いやりじゃないと思う。将来、自分のためにならないし、思いやりにはならない。
- C : みんなと同じで、思いやりじゃない。うれしいかもしれないけど、その人に宿題がでているから、それを自分でやらないと、宿題にならない。
- C : 思いやりにならないと思う。うれしいけど、自分のためにならないから。
- T : 今日は思いやりについて、みんなでたくさん考えることができました。
- 最後に心の残った友達の意見や思いやりで大切なことは何かってことを中心にノートにまと

めてください。

T : 何人かに発表してもらいます。

C : 思いやりはやさしかったり、きづかったりすることだと思います。理由は思いやりは人のことをおもってやったことだから、こまったりしていたら、手伝ったりすることが思いやりの大切なことだと思います。

C : 思いやりで大切なことは相手のことを考えてあげることだとおもいました。

C : 授業を通して、思いやりとは、その人の気持ちや将来とか、考えてしないとけないんだと思いました。とても難しく、話しがいがある対話でした。

T : 今日は、「ゆうきの心配」という教材をもとに思いやりについて考えていきました。

自分で考えて、こうした方がいいって思うことはぜひやってあげることがいいのかなあと思いました。やらないよりは、やった方がいいのでね。ぜひね、そんな姿を目指していけるといいのかなと思いました。